



今月の表紙

たくましい農業推進大会

topics

- ・たくましい農業推進大会
- ・富山県農業振興賞
- ・組合長 農協人文化賞 受賞
- ・「家の光」記事活用体験発表会

他



講演 国政報告 ～国内農業をめぐる情勢と今後の動向～
参議院議員 藤木 眞也 氏

たくましい農業推進大会

たくましい農業推進大会が2月4日(金)午後3時より、本店3階大ホールにて約100名が参加し開催されました。この大会は、農業経営の強化と地域農業の発展を目的に、当JAと射水市農業技術者協議会が主催しています。

開会にあたり、主催者を代表して当JA水元組合長より、「令和3年産米は1等比率が97%を上回り、黒大豆枝豆「富山ブラック」では作付面積が37haに拡大され、84.5トンを出荷できた。これも生産者皆様の日頃からのご尽力の賜物と感謝申し上げます。」と挨拶がありました。

その後、農事功労者表彰式が行われ、地域農業に尽力された優良生産団体3組、優良指導者・生産者6名、長年にわたり生産組合長を務められた方5名が表彰されました。

また、来賓挨拶では、夏野元志射水市長・山崎市議会議長・草島すなお高岡農林振興センター所長より祝辞を賜りました。

続いて、参議院議員藤木眞也氏より「国政報告～国内農業をめぐる情勢と今後の動向～」と題して講演が行われました。藤木議員からは、水田農業対策や人・農地関連施策に係るこれまでの経緯と今後の見直し方針や、将来的な食料・農業のあり方としての食料システム戦略が策定されたこと等、農業・農村における課題と今後の取り組みについて貴重なお話をいただきました。

●優良生産団体表彰

水稻部門

ファーム小杉白石 (小杉支店)

複合経営部門

(農)ファームふたぐち

(三島野支店)

(農)のむら宮農 (新湊南支店)

●優良指導者・生産者表彰

水稻部門

砂原 仁志 様 (小杉支店)

園芸部門

稲垣 潔 様 (三島野支店)

前花 浩 様 (大島支店)

複合経営部門

坂森 理 様 (南郷支店)

遠藤 彰 様 (大島支店)

朴木 均 様 (新湊南支店)

●生産組合長感謝状

寺内 保満 様 (太閤山支店)

高橋 久和 様 (南郷支店)

宮越日出夫 様 (大島支店)

森本 雅弘 様 (新湊南支店)

関井 克治 様 (東部支店)

令和3年度 富山県農業振興賞



2月15日(火)にパレブラン高志会館において「令和3年度 富山県農業振興賞」の表彰式が開催されました。

この賞は「米」、「麦」、「大豆」、「園芸」、「環境にやさしい農業」、「複合経営」など9部門で構成され、日頃から農業技術の研鑽に努め、農産物の品質や単収の向上、低コスト化等を図るとともに、地域のリーダーとして優れた成果をあげた個人や団体を表彰するもので、今年度は県内38経営体、JAいみず野からは3経営体が表彰されました。

麦部門(集団)で受賞した東部支店の(農)柳瀬宮農組合は稲刈直後の額縁排水溝設置など徹底した排水対策と土壌改良資材の施用、水稻や大豆作前に発酵鶏糞を散布することで継続的な土づくりを行うなど、収量確保と持続可能な農業を実践している点が評価されました。

大豆部門(集団)で受賞した東部支店の(農)ファーム秋の里は大麦作付跡全ほ場に大豆を作付する水田フル活用の取り組みと、サブソイラーによる心土破碎や深い額縁排水溝の設置、作業のたびに溝の手直しを実施するなど排水対策を徹底し収量・品質が高位安定化している点が評価されました。

園芸部門(生産者)で受賞した太閤山支店の西野進さんは基本的な栽培管理を徹底し生育や天候等の状況に応じたきめ細やかな栽培管理と高い技術力による高品質なりんご生産に加え、エコファーマーに認定された安全安心の取り組みが評価されました。

受賞された皆様には心よりお祝い申し上げます。

水元組合長が

農協人文化賞を受賞



当JAの水元睦雄組合長が、一般社団法人農協協会から農協人文化賞（共済事業部門）を受賞しました。

例年表彰式は、東京にて開催されますが、昨今の新型コロナウイルスの動向を鑑み、JA事務所での開催となりました。

この賞は、多年にわたり献身的に農業協同組合運動の発展に寄与された方に贈られる栄誉ある賞です。全国で21名が受賞されています。

表彰に際し、水元組合長は「組合員や利用者・地域の皆様に無くてはならない『オンリーワンのJA』を目指し、地域に信頼され必要とされるJAをつくり上げます」と抱負を述べました。

水元組合長は平成16年に当農協理事に、平成25年より代表理事組合長に就任し、射水市産米の品質向上や地場野菜の生産拡大に向けた施設整備や機械導入を積極的に進めてきました。

受賞を機に今後も

役職員一丸となり、地域農業の発展に取り組むことを決意されました。



生産調整実施計画書

説明会

令和4年度生産調整実施に係る説明会が、2月9日（水）・10日（木）の両日、午後6時30分より、本店3階大ホールにて開催されました。

冒頭、射水市農業再生協議会水元会長より「国の需給見通しを参考に県協議会より令和4年度産米の数量目標が示され、案内したところで。皆様には、さらなる生産調整にご理解とご協力をお願いします。」と挨拶がありました。

その後、事務局より生産調整実施計画書の作成にあたっての手順や、各種助成金の交付状況について説明がありました。

また、令和3年度補正予算に関連する事業概要や、人・農地プランの実質化についての説明もありました。

北陸農政局富山県拠点からは、米をめぐる状況について報告があり、出席された生産調整実施エリアの代表者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。



JA共済テント寄贈

JA共済連富山とJAいみず野は地域貢献活動の一環として、防災対策に役立てていただくために、射水市に災害用の簡易テントを20張り寄贈しました。

このテントは災害対策用プライベートルームという名前で、

コロナ禍での万一の災害に備えた避難所設備の充実を図ることで、地域住民が安心して利用できる避難所運営に有効に活用することができます。

天井付きで夜間の明かりの下でも影が透けにくい素材を使用しているため、プライバシーが確保されており、更衣室や授乳室などに使用することも可能です。

JA共済連富山の会長も務めている当JA水元組合長が、夏野元志射水市長に現物と目録を贈呈し、「地域住民が安心して利用できる避難所運営に活用して欲しい」と話しました。



「家の光」記事活用

体験発表会



2月14日（月）、
「家の光」中部地区
大会（Web）が開
催され、JAいみず
野女性部（二口支
部）稲垣美雪さんが
富山県代表として出
場しました。

この大会は、「家の
光」の記事を活用し
た体験発表などを通

じて愛読者の交流を深め、JA教育文化活動の充
実・強化を図ることを目的に開催されています。

稲垣さんは、「しなやかに・たくましく」仲間と
ともにGO!」と題し、棚田営農組合の女性部グ
ループ「睦月会」の活動や仲間の大切さ、子供た
ちとの食農体験を通して感じたことを発表し、今
後も夢を持って魅力ある野菜作りを続ける決意を
述べました。

惜しくも本選出場には至りませんでしたが、次
代を見つめる目と仲間と共に現実を勝ち抜こうと
するバイタリティに圧倒されました。
今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

米・食味分析鑑定コンクール

.. 国際大会

当管内の（農）土合営農組合は、
お米のオリンピックとしても知
られる「第23回 米・食味分析鑑
定コンクール」に、コシヒカリ



「どあい乙女」を出品し、良質米であると認定を受けまし
た。この大会は、秋の新米が出揃う11月頃に毎年開催され、
全国各地から美味しいお米がエントリーされています。

寺井吉明副組合長は、令和3年産「どあい乙女」の認定
について、『ひかり太陽』という有機質肥料での土づくり
から、庄川の清らかな伏流水による寒暖差を活用した適切な
水温管理に取り組んだ結果である」と話しておられました。

食感ほふくら、もちもちとした粘りと甘みが特徴。農
薬を5割削減、化学肥料は極力使用しない「特別栽培米」
のガイドラインに準じた栽培方法で、安心・安全な米づく
りにもこだわっています。また、当組合は、環境にやさし
い農業に取り組む農業者として「富山県エコファーマー」
にも認定されています。

当組合の夏野勝文代表理事は、「あの米食べたら他の米
食べられん」これからもそんなふうに言ってもらいたいね。
今回の受賞を契機に、日々の様々な努力や工夫、研究を重
ね、さらに美味しいお米づくりを追求していきたい」と意
気込みを新たにされました。



組合員資格の 確認のお願い

組合員の皆様には時下
益々ご清祥のこととお喜び
申し上げます。平素は格別
のご高配を賜り、厚く御礼
申し上げます。

さて、組合員の皆様の組
合員資格に変動が生じた場
合には、定款の定めるところ
により、書面にて当組合
宛にその旨ご連絡いただく
こととなっております。組
合員資格の変動があった場
合には、お手数ですが当組
合の最寄りの支店までお申
し出ください。

組合員資格の変動は、組
合員資格を喪失した場合
や、正組合員から准組合員
に、または、准組合員から
正組合員に資格が変動した
場合が該当します。

ご理解とご協力をお願い
申し上げます。

お問い合わせは最寄りの支店まで

ESSAY - 05

日本農業新聞 富山通信部
ライター 本田 光信

第5回「仏の顔」 寝不足でもタフな笑み

「ゆうべは仕事で二時間しか寝ていないのよ。」そう言いながらも瀬戸内寂聴さんは、インタビューに応じてくださった。

一九九九年の秋、当時七十七歳。

お体を案じて恐縮したが、そんな心配は無用だった。彼女の言葉の熱量は途切れることなく、取材が終わってみると一時間近くたっていた。三十代だった私の方がへばっていた。

当時は不況を背景に全国の自殺者が三万人を超え、社会問題になっていた。ご自身もかつて二度、自死を考えたことがあると言い、あの時死ななかつたから今があるのだと答えた。世の中の人たちへのエールである。

「どこを向いてもいい話はないけれど、みんなが暗い顔をしているのは社会全体が不健康になります。明るく笑うのが一番なのよ」

そう語る寂聴さんは満面の笑みをこぼしていた。

ついさっきまで寝不足で不機嫌そうだったのになあ。完全にスイッチを切り替えられたご様子で、人生の

酸いも甘いもかみわけた作家らしいタフな笑顔に感じ入ったものだ。

そんな彼女も九十九歳でお亡くなりになった。

この四半世紀、世の中は便利になったはずなのに懐は温まらない。日本の平均賃金は横ばいが続いて年に424万円。この間に一・五倍に伸びたアメリカの763万円には、はるかに及ばない。倍増した韓国にも抜かれてしまった。農家が苦しむ消費低迷は人口減やコロナのせいばかりではない。

「よもやよもや」である。政治家は何をしてきたのだろう。もしかすると、亡き父がよく言っていた「うまいこと言いの、ごっつお食らい」とはこのことか？

今、農家は厳しいやりくりを余儀なくされている。それでも出会う人たちは暗い顔一つせず、明るくインタビューに答えてくれる。寂聴さんがおっしゃった笑顔の施しだが、「仏の顔も三度まで」ということわざもある。



インタビュー時に話題にした寂聴さんの本



笑顔が一番



水橋のスマート農業実証圃にかかると虹。明るい将来のきざし

本田 光信（ほんだ みつのぶ）プロフィール
1966年生まれ、平成の幕開けとともに一般紙記者になり、報道・編集の現場で仕事をしてきた。デスクなどを務めて退職し、フリーとして活動。2021年から日本農業新聞富山通信部ライター。著書や共同執筆による出版多数。「文藝春秋」、日本新聞協会「新聞研究」などに執筆歴あり。富山県内で農業現場取材する日々の中、生産者やJA、行政をはじめ、多くのみなさんの声を聴いている。新聞記事には表現しきれなかった思い、こぼれ話などを拾い上げながら未来を見つめていきたい。題して『われらアグリ応援団』。

農耕用トラクター・田植機等の 登録・名義変更・廃車手続きはお済みですか？

農耕用トラクターなどの小型特殊自動車を所有している場合は、公道走行の有無にかかわらず、軽自動車税（種別割）が課税されます。

お持ちの車両で未登録のものがある場合は、射水市役所課税課で登録の手続きを行い、ナンバープレートの交付を受けてください。

また、譲渡、処分等により所有していない場合は、3月末までに名義変更または廃車の手続きをされないと、翌年度も軽自動車税（種別割）が課税されますので忘れずに手続きをしてください。

こんな場合には手続きが必要です。

- 新たにトラクターや田植機を購入した
- 知り合いにコンバインを譲った、または譲ってもらった
- 田植機を業者に引き取ってもらった
- トラクターのナンバープレートを紛失した
- 以前からナンバープレートのついていないコンバインがある
- 営農組合の名称を変更（法人化）した
- 営農組合の代表者交代により、納税通知書の送付先を変更したい

※軽自動車税（種別割）は毎年

4月1日現在の

所有者に課税されます。

※農耕用小型特殊自動車の
軽自動車税（種別割）…………

2,400円

お問合せ先

詳しくは、下記へお問合せください。

射水市役所 課税課市民税係（本庁舎2階）

TEL 51-6618

役員会だより

第33回定例理事会

日時 令和4年2月21日(月)
午後2時より
場所 J A いみず野本店3階大ホール

◆協議事項◆

第一号議案 令和4年度における同一人に対する信用の供与等の

第二号議案 最高限度決定の件

第三号議案 令和4年度における借入金の最高限度額決定の件

第四号議案 令和4年度余剰金運用方針について

第五号議案 令和3年度決算見直し及び令和4年度事業計画の概要について

第六号議案 令和4年度内部監査計画について

第七号議案 令和4年度コンプライアンス・プログラムについて

第八号議案 大口貸出金の申込について

第九号議案 理事に対する貸付の承認について

第十号議案 信用手数料の一部改正について

第十一号議案 固定資産の取得について

第十二号議案 定款の一部変更について

第十三号議案 「当組合における取引のリスク評価書」の改正について

以上について協議し、全議案承認されました。

◆報告事項◆

一、1月末実績報告について

二、令和4年度第1四半期余剰金運用計画について

三、時間外労働・休日労働に関する協定書(36協定)の締結について

以上について、報告されました。

第28回監事会

日時 令和4年2月21日(月)
午前11時より
場所 J A いみず野本店2階会議室

◆協議事項◆

一、令和3年度下期監事監査の具体的進め方について

二、監事監査で使用する監査調査書の取扱いについて

三、令和3年度監事監査実施スケジュールの実績と検証について

以上について協議し、全議案承認されました。

◆報告事項◆

一、令和4年度内部監査計画について

以上について、報告されました。

協同の力

J A いみず野概況

(令和4年1月末日)

正組合員数	5,203人 (△ 87人)
准組合員数	8,209人 (△ 286人)
みなさまの貯金高	1,442億89百万円 (33億97百万円)
みなさまへの貸出金	290億48百万円 (△ 1億60百万円)
長期共済保有高	2,655億86百万円 (△ 111億27百万円)
購買品供給高	29億36百万円 (14百万円)
販売品販売高	21億33百万円 (△ 4億15百万円)

* () 内の数字は前年同期比

2023年4月 採用職員募集のご案内

2023年4月採用の職員採用試験を次の通りに実施致します。

- 応募資格 射水市及び周辺地域在住者で、2023年3月末までに大学・短大を卒業見込みの者、及び卒業者
- 募集人数 若干名
- 職種 事務・営業
- 試験会場 J A いみず野 本店
- 試験日時 2022年4月15日(金)
- お問い合わせ・申し込み先

J A いみず野 企画管理部 総務課 射水市北野 1555-1 TEL(0766)52-0023

※試験・応募書類についての詳細は、募集要項に記載されていますので、上記までお問い合わせ下さい。



応募期間

2022年 **3/11** (金)以降随時受付!!

●寒中味噌作り教室

1月23日(日)、「味噌作り教室」が開催され、10名の参加がありました。この時期は、他のグループによる味噌作りも盛んです。

射水市産の大豆「エンレイ」を使用し、防腐剤など一切使用せず減塩で仕込みます。味噌は、地産地消と安心安全をモットーに心を込めて作ります。

大きな釜で茹でられた大豆は、寒風にさらした後、機械でミンチ状にし、麴と塩をシートの上でよく混ぜます。老いも若きも腰に力を入れ、味噌玉を作り桶に入れ、湯を入れながら表面をならします。

カビを防ぐ為に味噌の表面を酒粕(板状)で隙間なく覆いました。味噌が仕上がる頃には味噌から出た「たまり」を酒粕が吸うので、これを漬け床として活用するのもおすすめです。野菜はもちろん、肉や魚などを漬けて焼くと絶品です。この調理法は家の光に掲載されていました。味噌はアルカリ食品・健康バランス食



品です。タバコの吸い過ぎや高血圧予防、二日酔いにも最適で、毎日の健康に欠かせない万能調味料です。

最後に押し蓋をして食べ頃の9月までじっくり熟成するのを待ちます。その日が今から楽しみです。参加者のみなさん、本当にお疲れ様でした。(二口支部)



しつかり
かき混ぜて…

二口支部
寒中味噌作り
教室



美味しくなります
ように!!

●押絵教室

片口支部では、毎年さくらほりきりの資材を使い「押絵教室」を開催しています。

しかし、昨今の新型コロナウイルスの影響により支部で集まることができず、今年度は各家庭での自主製作となりました。

いつもはみんなで集まり、「これいいね」「これ難しそう。」など、作り方を教え合い、わいわい楽しく作るのですが、今年は寂しく家で作りました。外で部員に会った時には「押絵、作った?きれいなができた?」「早くみんなで集まりたいね。」などと話しています。

広報掲載にあたり、みなさんの作品を眺めると、益々楽しく活動を再開したいという思いが膨らみます。

新型コロナウイルスの早期収束を願い、みんなで楽しく活動できる日を楽しみにしています。

(片口支部)



片口支部
押絵教室

素敵な押絵が
いっぱい!!

●フラワーアレンジメント教室

12月23日(木)三島野支店会議室にて、「フラワーアレンジメント教室」が開催され、18名の参加がありました。花金の宮腰先生を講師にお迎えし、みなさんこの教室を楽しみにしておられました。当日は、貴重な暖かいお天気にも恵まれ、素敵なお正月向けの作品に仕上がりました。

多くの方は昨年使用した花器を使い、先生のお手本を参考に、アドバイスをいただきながら活けていきました。

オアシスに①芯となる若松1本を適当な長さに枝分し、残りは捨てないこと②ボケの枝1本を2、3本にカットし、花の向きを間違えないよう差し込むこと③豪華なシンビジウムを中央へ④ピンポン菊2本を長短にカットし、バランス良く左右に差し込むこと⑤葉っぱを花器が見えないように中央に低くさすこと⑥千両1本を小さく2、3本にカットし、後はバランスを見ながら若松の残り、ヒムラ杉を花器に沿って配置しました。

宮腰先生からは、生け花は正面に手前斜めに挿す傾向があるが、フラワーアレンジメントは、前に重心があると倒れてしまうので、横からみて水平になるよう花を配

置すると良いことを教わりました。玄関や座敷の床の間に置いて、長く鑑賞できるよう、時々水をやってくださいとのことでした。

(水戸田支部)

水戸田支部
フラワー
アレンジメント
教室



高級感あふれる綺麗な
作品ができました!

女性部ポイントカード /



色んな教室に参加して
ポイントを稼ごう!

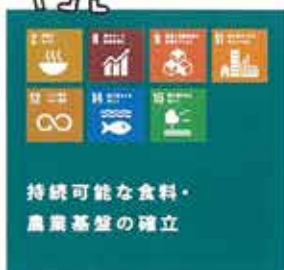
女性部に関するお問い合わせは、
お近くの支店または、営農経済部 (TEL 52-0368) へ

今後の日程
3月14日(月) 助け合い組織「いみずの総会
19日(土) 女性部総会
※コロナ禍の影響で変更や中止になる場合があります。



富山JAグループは
持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて、
事業・活動に取り組んでいます。

未来の実りへ



富山県JAグループ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今号は事情により合併号といたしました。